

## 丹波市立西小学校 4年生算数研究授業 事後研修会



複数教師によるきめ細かな指導

2005年11月22日  
15:20～16:45



## 校長先生のあいさつ

### 今日のワークショップのねらい

- 前回の成果  
授業改善リスト
- 本時のワークショップのねらい



4年生の同室複数指導を参観して、研究テーマ「学びの基礎の確立とITを活用したわかる授業づくり」について協議し、西小学校としての指導方法、指導体制の工夫改善を行う。

### ワークショップの流れ

- 趣旨説明 ねらいの確認
- 授業者からの提案 2名
- よかった点
- 改善点
- 改善点の絞りこみ
- 改善点についての協議
- ふりかえり



2班にわかれてグループ作業  
模造紙に付箋をはりつけ、グループ分けし、  
お互いに発表する。模造紙が成果物。

### 確認！前回の作業でできた改善案リスト

- 1 個の把握ができているか  
チェックリスト、座席表を活用して一人ひとりの考えを認めることができているか
- 2 習熟度に応じた教材教具・授業展開ができているか
- 3 多様な考えを生かした授業づくり  
発問、切り返し、ほめる、みとめることにより、子どもたちが高まる授業作りができているか
- 4 IT活用した授業づくりができているか  
ITを効果的に活用して子どもにわかる授業を行えているか。

### 2 本時の授業をふりかえって

- 4年生 算数  
あまりのある何十でわるわり算の計算のしかた
- 同室複数指導で2名の教師の役割
- 個に応じた指導と評価について
- 2名で10分程度で



### 全体作業1 グループわけ

- 1班 婦木 校長 中澤 多恵子 上月
- 2班 三原 教頭 吉川 藪下 松岡 堀
- 司会 細見 隆昭
- 指導助言 総括 堀 指導主事



### 個人作業2 授業のよかったところ

- 4年生の授業でよかったところを思いつくまま、できるだけたくさん黄色の付箋紙に書きましよう。
- 一人10枚はかけるかな？
- 1枚には1つの項目
- 3分程度で



### グループ作業3 仲間分け

- グループで付箋を仲間分け
- グループ内で書かれた付箋を模造紙に分類・整理していく。
- グループ内でしっかり話し合うこと
- 模造紙の半分より上に整理 模造紙は縦
- 色マジックで見出しをつける
- 線でかこんだりする
- 10分程度で



### 作業4 グループ発表(4分)

- どんな意見がでたのか
- 各グループ2分程度で発表する
- 発表する人、模造紙を持つ人など役割分担を！



### まとめ1 2班授業のよかったところ

- 事前の把握 プレテスト
- ノート指導
- 教材教具の工夫
  - 小黒板、10円模型
- 時間配分 思考の時間をゆっくりとった
- T1T2の役割分担がうまくなされていた
  - 肯定的な言葉がけ
- 学習規律がついていた



### まとめ1 1班授業のよかったところ

- 児童が育っている
  - 「悩んでいます」といえる。表現力がついている
- 個の把握が丁寧
  - プレテスト
- ノート指導、小黒板
- ヒントカード
  - 九九の表
- ほめ言葉がいていた
- 複数指導での打ち合わせ
  - 役割分担ができていた



### 個人作業5 授業の改善点

- 授業で「あれ?」「どうだったかな?」「私だったらこんな風にするな」と思った点を書き出す。
- ピンク・緑の付箋にかく
- できるだけたくさん
- 3分程度で



### 作業6 グループ作業 改善点を整理

- 模造紙の下半分に各自の付箋を出し、マジックを使って仲間わけをする。
- どうすればよくなるのか、項目ごとに改善点を出し、話し合う。
- だれか議論をうまく整理して
- 発表資料になるようにきれいに色分け
- 10分程度で



### 作業7 グループごとに改善点を発表する

- 1班2分程度で改善点を発表する
- 改善点をリスト化したいので、できるだけ項目ごとにわかりやすく整理して話してほしい
- 先ほどと違う人が発表する



### まとめ 1班 授業改善案

- 発表形式の改善
  - いいと思います x 指示棒使う
- 時間配分
  - 思考 x 表現処理なので、後半に時間を!
  - 小黒板に書くときが無駄?
- ねらいに向かっての切り返し
  - 発表させるのは、あまりが1、10のみでよい
- 複数指導
- 子どもの意見の価値付け



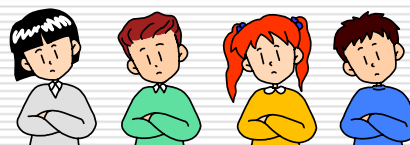
### まとめ 2班 授業改善案

- わかりやすい発問
  - 焦点化、深める発問 (三原?)
- 小黒板の使い方
  - 発表者途中で区切る。人数が多すぎる。
  - 内容を厳選させる。「ここだけ書いて!」
  - グループで1枚書かせてもいい。
- 問題演習に時間を多く使う(時間配分)
- 自信を持ってつなげる発表をさせる



### みんなで話し合い 改善点をしぼりこもう

- 研究テーマをふりかえり、どの部分の改善が必要か話し合う
- 大事だと思うポイントを発表しよう。



一人ひとりに確実に学力を身につけさせるために

## 西小としての授業改善案！

ねらいを達成させるための「焦点化」の方法

1. 机間巡視で発表させる子を絞る
  - 子どもの考えをあらかじめ予測したチェックリストですばやく個を把握する
  - 児童の思考と発表順に関するT1・T2の打ち合わせ
2. 小黒板を使って子どもの考えを発表させる
  - 式と答えだけを短く書き、考えは言葉で説明させる。
  - 本時のねらいにせまるために必要な数だけの意見を出させる
3. 子どもどうし話し合い
  - 投げかけ、ゆさぶり「この意見についてはどうかな？」
4. ねらいに向かってまとめ
  - ねらいを達成させるための発言をほめる・認める

## 作業10 ワークショップの感想

- 本日の事後研をワークショップ形式で行ったことや、これからの研修について自由に感想を出し合う。
- まだ、今日発言していない人  
感想
- 時間が充実している。ポーとしているときがない。一人ひとり順番に話すより、焦点をしぼって短い言葉でたくさんの方がよい意見を言っている。
- 短い時間で話している人の意見を整理し、スライドとして提示できているのがすごい。
- 次回の障害児の事後研をどのようにするのかという話がでてきた。今まで事後研をどうするかという意見はなかった。

## 堀指導主事のまとめ



## 閉会 お礼のあいさつ

- 教頭先生